


# あおもり高教組新聞



発行所  
青森県高等学校・短大  
学校教職員組合  
青森市橋本1丁目2-25  
教育会館017(734)7287  
編集発行人 酒田 孝  
購読料一部20円は組合費  
の中に含む

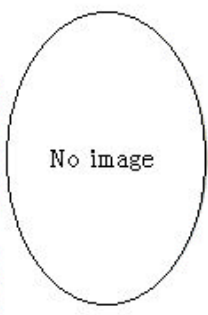
**実現まであと一歩**  
臨時教職員の  
「空白の1日」廃止署名  
に取り組みましょう!  
◎「空白の1日」撤廃  
◎給料頭打ち撤廃  
◎臨時講師の給料表2級格付け

Eメール aokokyos@olive.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/aokokyoso/> ブログ <http://plaza.rakuten.co.jp/sannkyoso05/>



7 兆円を何に使うか  
あけましておめでとうございませう。  
昨年12月25日に文部科学省は、2017年度の教職員の精神疾患による休職者の数を発表しました。全国では前年より186人多い5077人、青森県では1名少ない46名でした。1名少ないと言っても、2000年はわずか11名でしたから、4倍以上に増えたことになりました。教員の働きすぎが社会問題になっていますが、文科省・中教審が解決策として出してきたのは、結局、1年間の変形労働時間制です。根本的な解決には程遠い小手先の解決策で、「大山鳴動して鼠一匹」という印象は否めません。教員の長時間労働を根本的に解消するためには、予算を大幅に増やして教員を増やすこと、そして、給特法を改正して時間外勤務手当を支払うことが不可欠です。ところが、膨れあがった時間外労働分を残業代に置き換えれば、1兆円とも言われる、莫大な予算が必要とされています。それゆえ、文科省は教員の大増にはもちろん、給特法の改正にも後ろ向きです。  
1兆円といえば、政府は最新鋭のステルス戦闘機F35を100機購入することを決めました。そのうち40機は垂直離着陸型のF35Bで、いずも型護衛艦を改修し空母化して搭載するとしています。その予算総額もまた1兆円と言われています。専守防衛の大義を捨て、他国を攻撃するための兵器に1兆円を使うのか、未来を担う子ども達の教育のために1兆円を使うのか、政治に対する政府の見識が問われています。

## 国民統合の祝祭の影で



酒田 孝執行委員長

12月14日、政府は沖縄辺野古沿岸部へ土砂を投入

### 政策によって進む国の分断

し、新基地建設のための海の埋め立てを開始しました。沖縄県民と沖縄県の願いを踏みにじる暴挙です。憲法の前文には「主権が国民に存することを宣言し」と記されていますが、この「国民」に沖縄県民は含まれていないのでしょうか。12月8日には、単純労働を含む外国人労働者の受け入れを拡大する改正入管法が成立しました。4月からの外国人労働者の受け入れはあまりにも性急です。十分な統合政策・共生政策が行われなければ、国民の排外感情が急激に高まり、社会が分断化される恐れがあります。今年10月からは消費税が増額される予定です。消費税などの間接税の増税は低所得者層の大きな負担となります。OECDの発表では、先進国34の中で、日本は7番目に貧困率が高い国となっています。日本の貧困率の高さは国際的に見ると、米国に次いでG7中ワースト2位。さらに、ひとり親世帯ではOECD加盟国35カ国中ワースト1位です。その一方で、資産一億円以上の富裕層・超富裕層は日本人は2017年には126万7千人でした。第2次安倍政権になっ

### 祝祭の影で進行する分断

てから急増しています。社会の分断が政府自身の政策によって進められています。今年天皇が即位し、新たな天皇が即位します。憲法第1条にも書かれているように、天皇は「日本国民統合の象徴」です。政府にとって国民は必ず統合されなければなりません。国民の分断はあってはならないのです。そのため、時々の政府はあらゆる手段を使って国民の一体感を演出しようとしています。天皇の交替やオリンピックは、まさにその絶好の機会です。しかし、国家による国民統合の祝祭の影で、沖縄の切り捨てや、外国人労働者の性急な受け入れ、貧富の格差の拡大など、国民の分断が急速に進行していることに注意する必要があります。福祉や教育よりも、暴力で他国を威嚇することを優先する現政権によって、私たちの社会は、傷つき引き裂かれています。今年、私たちの国家や社会について冷静に考え、政治にコミットしていきましよう。

### 坂道の風

師走になった。今年の冬は雪が遅い。それでも、道の雪は積もる間をなくし、溶けて凍り付き、次の粉雪に覆われた。学校は気ぜわしくなった。師走でなくても、次々に仕事が無い込むが、師走は尚更だ。▼学校職員の親睦団体が消えて久しい。ボウリング、麻雀、囲碁スキ、ゴルフなどの職員なかよしグループがあった。時には、遠くに足を伸ばし、ホテルに泊まりながら酒を飲み交わし、へたくそな勝負の反省をしながら、みんなわいわいと親睦を深めた。今、そのような職員グループはほとんどない。教職員の仕事場にも、私生活にも余裕がなくなつた▼なぜなのだろう。あらためて、「何のために生きているのだろう」「人間の幸せって何だろう」と考えてみたい。教師になったことを後悔するような人生をみんな望んでいるのだろうか。仕事の改革は、誰が、どこからすればいいの？今こそ組合の出番じゃないのかな。人生を豊かにするために。(多夢)



# 課題解決にむけて、さらに団結しよう!

## ～第130回青森高教組中央委員会～

12月8日、浅虫温泉「辰巳館」にて、青森高教組第130回中央委員会が開かれました。県内各支部より中央委員が参加し、現場の状況を踏まえた討論が交わされ、全部で17本の発言がありました。本文以外に、全教自動車保険への要望、高校における特別支援教育、「高校生のための学びの基礎診断」について(3面参照)、などの話題や、就学支援金事務、1年単位の变形労働時間制(3面参照)についての情報提供がありました。現場での困難な状況を共有するとともに、明日からの組合運動に向けて、気持ちを高めることができました。

### 【臨時講師の部活動振替】

臨時講師が休日に部活動指導(引率)を行った際の振替のとり方についての発言がありました。1年任期の臨時講師の多くは、9月末に辞令が一旦切れ、10月に再度辞令を交付されるようです。この場合、9月の休日に部活動指導(引率)をした後の振替のとり方が学校によって違うことが明らかになりました。10月以降の振替がとれないとして、手当て

対応する学校もあれば、任用が継続しているとして10月以降(冬休みなど)に振替をとれるとしている学校もあるのです。県教委に確認をとると共に、各校で同じ対応をするように働きかける必要があります。

### 【人事異動】

本人の身体状況等を配慮しない人事異動や校内人事についての発言がありました。本人の身体状況から、業務に支障が出ることも予想されるにもかかわらず、本人が希望しない学校に異動になったことが紹介されました(異動後、校内で配慮をしてもらい、職務に取り組んでいます)。また、産休明け直後の異

動で、その状況が異動先に伝わっていないと思われる校内人事があったことも紹介されました。人事異動に際して「調査」を提出しますが、その内容がどこまで、配慮され、伝わっているのか、取り扱いに疑問を持つてしまいます。「調査」を適切に取り扱って、人事異動に反映させるよう求めていく必要があります。

今年度から支援・給付金事務を行うための臨時事務職員が加配されていますが、業務がそれに限定されていることが気になるとの発言がありました。また、就学支援金申請者(生徒)が、ネット環境を使って自分で申請する制度が4月から導入されるかもしれないとの情報を受けて、様々な面で不安を感じるとの発言もありました。昨年まで高教組で行っていた奨学金を受けると、奨学のための給付金

が受け取れなくなる可能性がありました。今年度から併給が認められるようになったことが報告されました。

No image

議案提案を行った逢坂書記長

No image

現場での課題を確認しあった中央委員会

### 第130回 中央委員会特別決議

**憲法を守る取組をすすめ、子どもたちに平和で豊かな教育を、すべての教職員の生活と権利を守ろう**

9月30日、沖縄県知事選挙は投票が行われ、野党が支援し、アメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設阻止を訴えた前衆議院議員の玉城デニー氏が、安倍政権が全面的に支援した相手候補に大差をつけて当選しました。「新たな基地はいらない」との明確な意思を示すとともに、安倍政権に痛烈な審判を下しました。「オール沖縄」の勝利は市民と野党の共闘によって安倍政権を退陣に追い込む展開を示しています。

10月24日、安倍総理大臣は第197回国会の所信表明演説の中で、全世代型社会保障改革について「消費税増上げが経済に影響を及ぼさないよう、あらゆる施策を総動員することと併せ、来年10月から幼児教育を無償化します。更に、再来年4月から真に必要な子どもたちへの高等教育を無償化する。」と述べています。しかしながら、一方で、平成31年度から「高校生のための学びの基礎診断」として、民間事業者が開発・提供する測定ツールを生徒が原則負担するという制度を始めようとしています。また、現高校1年生から実施が決定されている、大学入学共通テスト(新テスト)では、英語の試験において、2020年度から2025年度までは大学入試センターが作問し共通テストとして実施する試験と、民間の資格・検定試験の両方が用意されることになりました。民間の検定試験もまた、生徒の原則負担です。教育無償化が世界の標準でもあるにもかかわらず、今まで以上に教育費の負担が重くのしかかろうとしています。

内閣改造で就任した柴山昌彦文部科学大臣は就任会見で、教育勅語の認識を問われ、「現代風に解釈され、アレンジした形で道徳などに使うことができる分野は十分にある」と述べました。道徳は小学校で今春から、中学校で来春から「特別の教科」に位置づけられ、評価の対象となっています。天皇のために命を捧げよと教え、子どもたちを侵略戦争に駆り立てた教育勅語を再び、登場させることは言語道断です。

教職員の働き方改革の1つの取組として、高教組が提言した長期休業中における学校閉庁日は県立学校70校が1日以上を設定しました。学校の「ブラック化」が叫ばれ、教員志望者が減少する中、長時間勤務を改善する取組が急務です。11月19日に行われた文部科学省の中央教育審議会初等中等教育分科会では、学校現場に携わる委員から、教職員定数の技術増や授業時数の削減こそ必要だとの意見が相次ぎました。教員の労働時間管理が改革の中心になると教育の質の低下や公教育の役割の縮減につながるという「人材確保、予算確保という形で『働き方改革』を進めてもらいたい。それがなければ教育の格差を生むことになる。」(全国高等学校長協会会長)「小学校の先生の勤務を楽にするには教員を倍にするしかない。国が『働き方改革』と言う以上、国がお金を出して人材を確保すべきだ。」(私学理事長)。一方で、現場の教職員から強い批判が上がっている1年単位の变形労働時間制の導入について、複数の委員が「答申の目玉」とするよう主張しています。

安倍政権の暴走を許さず、憲法を守り、教育改革の名の下での教育改悪への道にストップの旗を掲げ、国民的共通を広げるとともに、高教組運動を強く大きくしていかなければなりません。そのために、青年層の活動を大きく豊かにするとともに、すべての教職員に真正面から加入を呼びかけ、仲間を増やす取組を勧めましょう。平和と民主主義の確立を目指してきた高教組運動への確信を広げ、すべての児童・生徒の発達を保障する学校と、平和で夢や希望を実現できる社会を作り出していきたいでしょう。

2018年12月8日

青森県高等学校・障害児学校教職員組合 第130回中央委員会



# 「高大接続改革」で変わる高校教育

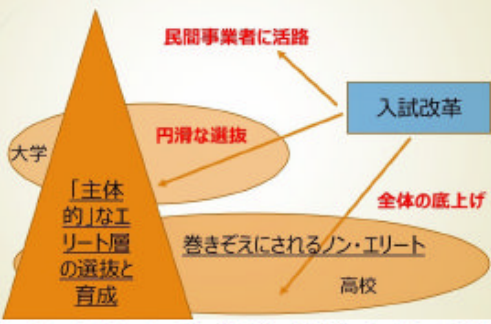
高大接続改革、大学入学共通テスト(新テスト)、英語4技能、高校生のための学びの基礎診断、eポートフォリオ。皆さんはこれらの教育に関わる大きな変化を詳細に理解し、生徒たちに伝えることはできますか。1979年に共通一次テストが行われ、大学入試制度が大きく変わりましたが、今回の改革はほとんどが民間に丸投げ状態であり、生徒・保護者の経済的負担が増えるとともに、学校教育が大きく歪められることにならないでしょうか。

## 英語4技能の外部試験

英語4技能については、平成30年12月13日に大学入試センターのホームページ上へ英語4技能試験情報サイトにおける「大学入試英

語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験の概要の公表について(参考)が掲載されました。検定料や試験実施スケジュールがありますが、検定料はどれも高額(英語検定CBT2級 7500円、GTEC・CBT9720円など)

## 高大接続改革とは何なのか



であり、障害等のある受検生への合理的な配慮については記載されていますが、経済的に困っている生徒への配慮は何も書かれてありません。実施時期については、2020年度に4月から毎月行うものもあるが、年に2回しか実施されないものもあります。また、

実施場所は47都道府県で行うものや北海道・東北・関東と広域で書かれているものがあります。どれもまだ予定段階と記されていますが、受験生の負担はこれまでに大きくなるものと思われま

## 高校生のための学びの基礎診断

「高校生のための学びの基礎診断」は民間事業者の測定ツールを利用することが文部科学省のホームページ上に掲載されています。認定基準を満たしているかの審査を行い、10月11月頃に結果を公表する予定であるとしていましたが、12月26日にツールを認定しました。12月17日に学校教育課から基本的な考え方が文書で出されました。来年度から定時制・通信制を除くすべての高校を対象です。「高校生の学びの基礎診断リーフレット」Q&Aでは、受検料は原則受験者負担、できるだけ低廉な価格設定が望ましいと書かれています。これまでに以上

## Q..1年単位の変形労働時間制とは何ですか?

A..2018年12月6日に中教審が教職員の長時間労働などの解消策に向けた答申素案に盛り込まれたもので、

## 労働時間を勤務状況に応じて年間で調整する制度のことです。

Q..具体的にはどのようになるのですか?

A..1年を単位とする変形労働時間制は、そもそも地方公務員法で地方公務員には適用除外と規定されていますし、教職員の仕事の内容から、「週の労働時間をあらかじめ定めておくことが困難な業務については、変形労働時間制を適用する余地はない」とする、厚生労働省の見解もあります。

課業期間中に正規の勤務時間が長くなれば、職員会議等を遅くすることも可能になります。帰宅時間もさらに遅くなるうえに、これまで通りの時間で帰ろうとすれば時休を取ることになり、育児や介護、通院等の事情を抱える職員にとって



## より働きづらくなる可能性もアリ!

は、より働きづらくなります。また、休みをたくさんとれるとしている長期休業中は、部活動や校内研修、初任研、10年次研修、教員免許更新講習などがあり、形式的に長期休業中に休日を設定しても、実際には休日に勤務していることにならざるを得ません。さらに、人間の生理的にも、休みのまともどりは疲労回復にはつながらないとも言われています。

1年単位の変形労働時間制は、課業期間中の勤務時間が延長されるだけで、現在の長時間過密労働に拍車をかけるとともに、1日の拘束時間が増えてくるのにもかかわらず、時間外勤務が減っているかのように描き出せるという危険性があるのです。

この制度の導入は、労働条件の重大な変更です。中教審の答申案では、自治体が自主的に導入できるようにしていますが、高教組は導入を許さないという姿勢で、県教委の動向を注視していきます。

## 労働条件なるほど講座



# 写真で伝えること、それぞれ それぞれの役割を果たすこと

～安田菜津紀氏(フォトジャーナリスト)に訊く～

12月1日、山梨県石和温泉にて教組共闘全国学習交流集会が開かれ、全体講演でフォトジャーナリストの安田菜津紀さんのお話を伺いました。TBSテレビの「サンデーモーニング」で5年前からコメントーターとしても活躍されているフォトジャーナリストの方です。フォトジャーナリストという仕事を選んだ理由、訪れた国の子どもたちの話、そして彼女の仕事・写真を通して出会った人々に伝えたいことについて、その思いを聴くことができました。

## 写真で伝える仕事を 選んだきっかけは?

中学時代に家族を次々亡くし、「家族って何だろう」という疑問に答えを見いだせないでいた、高校2年生の夏休みのある日、担任の先生から「国境なき子どもたち」という団体が派遣している「友情のレポーター」のプログラムを勧められ応募し、子ども記者としてカンボジアに向かい、人身売買された同世代の子どもたちと出会いました。悲惨な境遇の中で過ごしてきたにもかかわらず、彼らに共通していることは、さらにひどい状況で暮らしている家族のことを思いやっていることです。自分のことで一杯だった当時の私は自分以外に守りたいものがある子どもたちの強さに圧倒されたのでした。帰国して、私は何かを「返したい」と思いました。私にとって、貧困

や人身売買はもう「遠くの国の、何となく大変なもの」ではなく、「私」と「あなた」という関係むすんだ友だちが抱えた問題でした。私には何ができるだろうと考え続け、「見たこと、聞いたこと、感じたこと、こうして友だちからもらったたくさんさんのことを、誰かと分かち合うことはできるかもしれない」それが今の仕事の出发点となりました。

## 誰にも必ず持ち寄り ある役割があるとは?

厳しい現実を前に、「知らなければ、苦しくならなかったのに」と思うことが、かつて私にもありました。では私たちは一体、何のために学び続けているのでしょうか?私がたくさんさんの国で出会った子どもたちとの出会いを通して痛感したのは、「無知」がいかにも人を傷つけるのかということ



記念写真に応じた安田氏(右)と逢坂書記長

でした。相手の抱える問題を知らないがために、言葉で、行動で、その人の心の傷に触れてしまいかもしれないのです。私の中で「学ぶ」ということは、自分以外の誰かの心を守るためのものとなりました。爆撃を受けて大きな傷を負い、傷ついた子どもたちをフラインダー越しに見つめるとき、毎回願いを込めてシャッターを切ります。まずはこの子が少しでも早く、元気になって、また駆け回る日が訪れますように、と。そしてまた、同じような思いをする子どもたちが、これ以上増えませぬように、と。そう願っては、打ち砕かれる、そのくり返します。「伝える」という仕事に何か意味があるのだろうか、と自問自答していました。

そんなときに現地のNGOの方から「なつきさん、これは役割分担なんです。自分たちNGO職員には、ここに踏みとどまって人々を支えることができるかもしれない。けれどもここで何が起きているのかを世界に知らせるのは、時には難しいことがある。あなたには少なくとも通い続けることはできるし、ここで

何が起きているのかを世界に広めることができるのだから」という言葉をいただきまし



ひとりの人間が全ての役割を果たすことはできません。けれども、それぞれができることを少しずつ持ち寄れば、小さかった輪がやがて大きく広がっていくかもしれません。どんな立場にも、職業にも、必ずもち寄り合える役割があるはずなんです。大切なのは、今感じている「無力さ」を忘れないうことだと思っています。イラクの友人にこんな言葉をかけられたことがあります。「あなたが沈黙してしまったら、世界はどうなるでしょうか?その沈黙が集まり、様々な声をないものとして扱ってきたのが、今の世界なんです。」ひとりの人間として、沈黙ではない道を選びたい、と強く感じた言葉でした。

安田さんの講演を聴いて、私自身の役割について深く考えさせられました。これまで、教員として、組合員として30年以上取り組んできた道のりを思い出しました。やはり、沈黙することはできない。そう感じたことが私自身も出発点だった気がします。目の前の子どもたち、目の前の臨時教職員のみならず、私のまわりにはいた人々の幸せを願い、そのときの自分にできることに精一杯取り組んできました。なんども壁にぶち当たり、跳ね返されて、涙した日々を決して忘れません。けれど、かならずこの小さな思いは自分だけではなく同じ気持ちで行動してくれる仲間たちがいる。その仲間たちと目の前の壁を乗り越えたい、いや絶対に乗り越えてやる、改めてその思いを確認することができた素晴らしい講演でした。紙面で紹介できることは限られています。ぜひ、彼女の著書『写真で伝える仕事』という本を読んでいただければと思います。